

耐久性に優れたホルモン剤専用スプレー！

商品名 **ダイヤスプレー ホルモン剤専用スプレー ロングピストル（業務用）**
（植物成長調整剤）

型式名

NO.540

容量 **500 mL**

取扱説明書

- ・ご使用前に必ずお読みください。
- ・必要なときに読めるよう、大切に保管してください。

安全上の注意

⚠ 注意

- 本器はホルモン剤（植物成長調整剤）の散布以外の用途で使用しないでください。
- 薬液は、各液の取扱説明書の指示（または、農林水産省の登録内容）に従い正しくご使用ください。誤使用で高濃度の薬液を使用した場合、植物を痛めるばかりでなく本器の機能も損ない、また人体にも有害です。
- 散布時は、手袋・農薬用マスク・防護服・防護眼鏡をつけるなど、薬液の取扱説明書の指示にしたがってください。
- ご使用後は屋外や窓際など日光（紫外線）のあたる場所に置かないでください。長期間日光（紫外線）にあてると本器の材質が劣化し、耐久性に問題が出ます。また、火のそばや高熱の所にも置かないでください。
- 薬液を入れたまま日光の当たる場所や、ストーブなどの熱源機器の周辺に放置しないでください。容器内の空気膨張によりノズルから薬液が流出することがあります。
- スプレーを傾けたり逆さにすると、スプレー本体の通気孔から液がもれる場合がありますので注意してください。（2ページ 本体イラスト参照）
- 水和剤（粉末状）はシリンダーに傷を付け、シリンダーから液が漏れたり、ノズルの穴つまりの原因になりますので使用しないでください。※水和剤のご利用は、**ダイヤスプレー プレッシャー式噴霧器ホルモン剤散布用 No.7010 No.7020**をご使用ください。
- 落としたりして強い衝撃を与えないようにお取り扱いください。
- ご使用後は、下記洗浄後空吹きをして水分をよく抜き取り空の状態でご保管してください。



ご使用後は必ず本器の洗浄をしてください。本体内に薬液やゴミ等が滞留すると液漏れやノズルの穴詰り等の原因となります。（詳しい洗浄方法は本紙3ページ **使用後のお手入れ** 参照）

当社で試験した使用できる薬品 ※ 農薬の種類（主な商品名）

- 4-CPA液剤（トマトーン） ●MCPB乳剤（マデック乳剤） ●インドール酪酸液剤（オキシベロン液剤）
- ウニコナゾールP液剤（スミセブンP液剤） ●エチクロゼート乳剤（フィガロン乳剤） ●エテホン液剤（石原エスレル10） ●ジクロルプロップ液剤（ストップール液剤） ●ジベレリン液剤（ジベレリン協和液剤）
- プロヒドロジャスモン液剤（ジャスモメート液剤） ●ベンジルアミノプリン液剤（ビーエー液剤）
- ホルクロルフエニユロン液剤（フルメット液剤） ●メピコートクロリド液剤（日曹フラスター液剤）

当社で試験した使用できない薬品 ※ 農薬の種類

- ペンディメタリン乳剤

⊘ 禁止事項

- 「噴霧器の使用禁止」と表示されている薬品・「専用の噴霧器が指定されている薬品」は使用を禁止します。
- 薬品成分にキシレンと表示されている場合は、希釈倍数 500 倍以下での使用を禁止します。
・特に高濃度で使用すると、パッキン類・ホース等が軟化して膨らむなどの現象がでてきます。
- 本器を改造したり、本書に説明のない分解や修理を行うことは禁止します。
・本器の耐久性に重大な影響を及ぼすおそれがあります。決して勝手な改造や修理を行わないでください。



注意 は指示に従わなかった場合に負傷または物的損害を生じるおそれがあるものを示しています。

※本書の内容、及び本器の仕様は、予告なく変更することがあります。

※本製品はすべて噴霧検査をしています。検査の水が残っていることがありますのでご了承ください。

用途

- ホルモン剤（植物成長調整剤）の噴霧に。
※ 1 ページの「当社で試験した使用できる薬品」参照

特長

- 本器は、ホルモン剤（植物成長調整剤）の噴霧専用として開発したスプレーです。
・ホルモン剤（植物成長調整剤）の噴霧専用として新開発したピストンパッキングは、耐久性に優れています。
- 軽いハンドル操作
・フルプラが独自に開発した「シリンダーが 10 度上向きの本体構造」は、作用点（ピストン加圧点）より下に指が多く掛りテコの原理を有効利用できるのでハンドル操作が軽く、よい噴霧ができます。
- 手にフィットする設計
・本体後部のスペースは、手にぴったりと収まり、ノズルがブレずにハンドル操作ができます。ハンドルと本体の間が短いので握りやすく楽に噴霧できます。
- ホルモン剤（植物成長調整剤）の噴霧に適した細かい霧が噴霧できます。
- 花房（花）など、ねらった所に噴霧できる 18cm ロングノズル。
- ホースが動くので自由に傾けて噴霧できます。液をほとんど残さず噴霧できるので高価なホルモン剤（植物成長調整剤）を無駄なく使用できます。

各部の名称と特長

① 18cm ロングノズル

花卉（花）などがねらいやすい、18cm ロングノズルは、ホルモン剤（植物成長調整剤）の噴霧に便利です。ノズル穴径は、0.45mm で、ホルモン剤（植物成長調整剤）の噴霧に適した細かい霧が噴霧できます。

② 新開発 ピストンパッキング

ホルモン剤（植物成長調整剤）の専用として新開発された、耐久性に優れたピストンパッキングです。

③ ハンドル

フルプラが独自に開発した、「シリンダーが 10 度上向きの本体構造」は作用点（ピストン加圧点）より下に指が多くかかりテコの原理を有効利用できるのでハンドル操作が軽く、よい噴霧ができます。

④ 本体

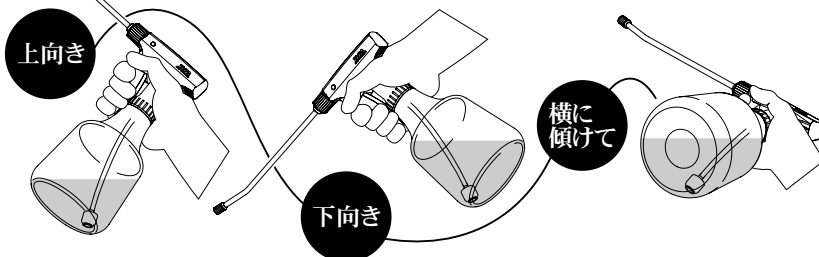
本体後部のスペースは、手にぴったりと収まり、ノズルがブレずにハンドル操作ができます。ハンドルと本体の間が短いので握りやすく楽に噴霧できます。

⑤ ボトル

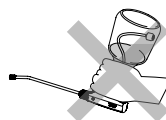
半透明のボトルは、薬液がよく見えます。残量が確認しやすく使いやすい設計です。※ ボトルの目盛はおよその目安です。

⑥ フレキシブルホース

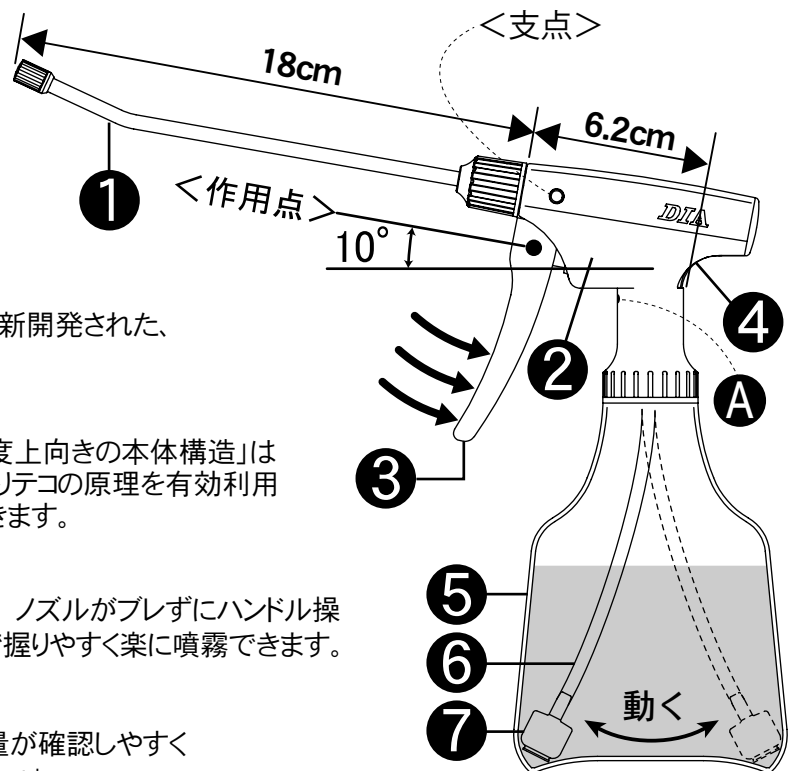
ホースが動くので、自由に傾けて噴霧できます。



※ A 通気孔の位置まで薬液が被るように傾けると構造上通気孔から液もれしますのでご注意ください。逆さまに噴霧はできません。



A 通気孔……噴霧による薬液の減少でボトル内部が減圧すると、ボトルが変形します。ボトル内部の減圧を防ぐため通気孔があります。



⑦ フィルター付き重り

- ・ボトルのコーナーに密着するので液をほとんど残さず噴霧できます。
- ・フィルター付きなのでゴミを吸い上げません。
- ・ホース先端の重りは、当社独自の設計で樹脂の中に金属を完全密閉してありますので液に影響をあたえません。



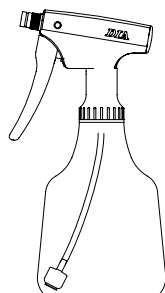
スプレーの取扱い手順

1) はじめに、箱の中に下図のものがすべてそろっていることをご確認ください。

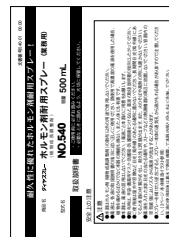
① 18cm ロングノズル



② スプレー本体



③ 取扱説明書

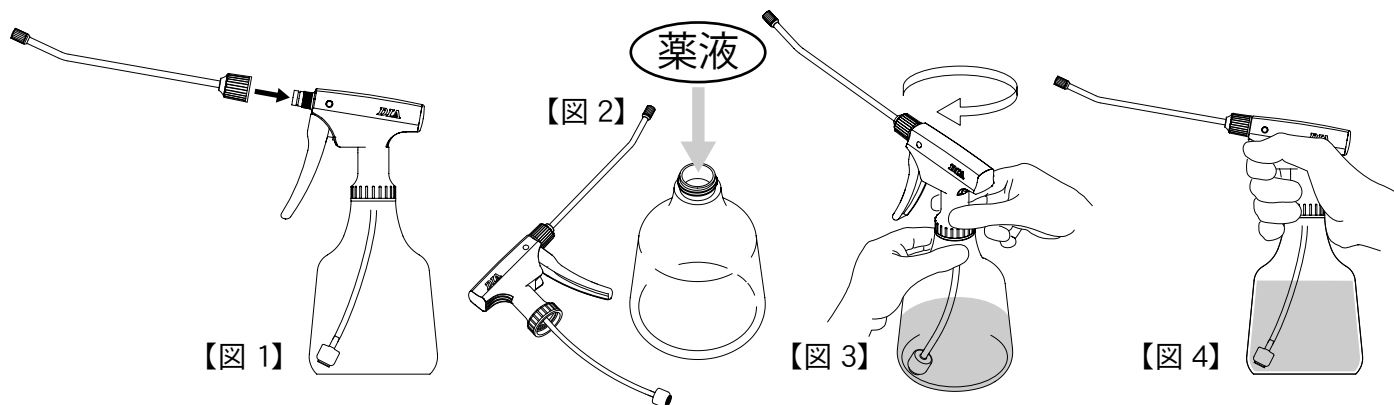


2) 18cm ロングノズルをスプレー本体に取り付けてください。【図 1】

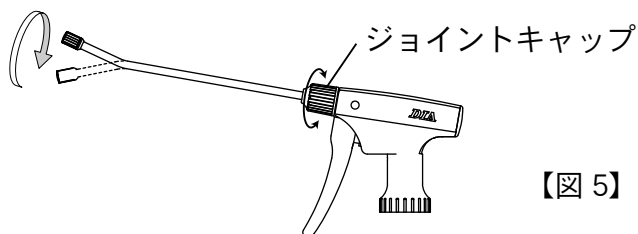
3) 本体を外して薬液を入れます。【図 2】

4) ボトルに本体を確実に組み込みます。【図 3】

5) 噴霧するときは4本の指をしっかりとかけて握ります。【図 4】



6) ノズルの方向は、ジョイントキャップをゆるめて調整できます。【図 5】



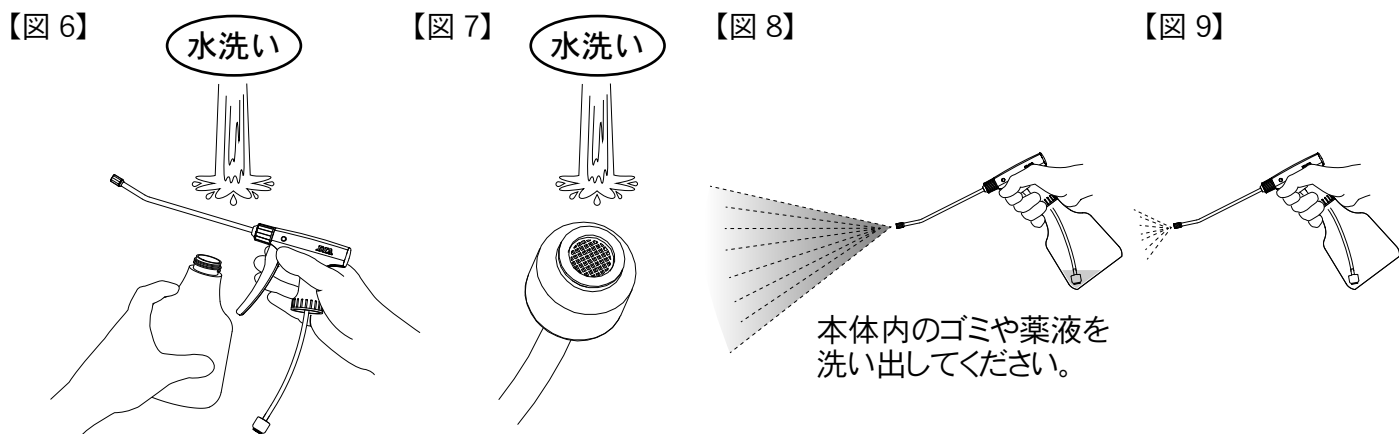
使用後のお手入れ

1) ボトルと本体を水洗いしてください。【図 6】

2) フィルターを洗浄して、ゴミを取り除いてください。【図 7】

3) ボトルに少量の水道水を入れ数回噴霧してください。【図 8】

4) 最後に完全に噴霧終わるまで空吹きをしてください。【図 9】

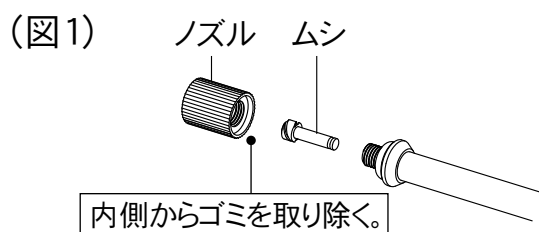


注意

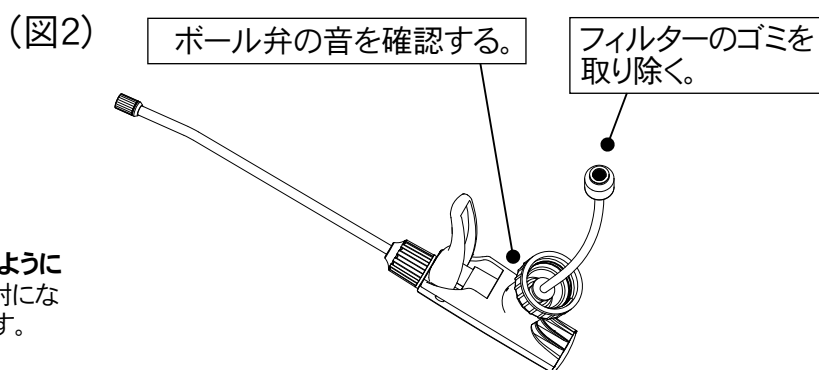
保管のときは、本体とボトルをよく乾燥し、日光（紫外線）のあたらないところに保管してください。（窓際などは、日光が当たるので保管しないでください。）

故障かなと思った時は

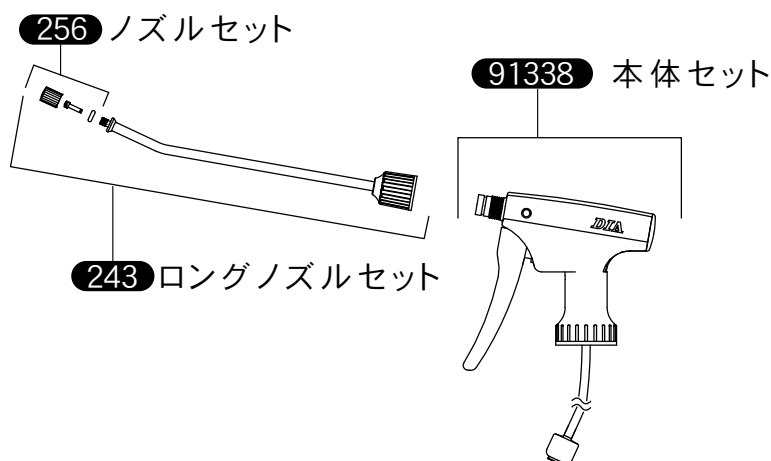
現象	原因	処理方法
霧が曲がっている。	ノズルのゴミ詰まり	ノズルを外して内側からノズルの穴やムシに付いたゴミを「つまようじ」のようなやわらかいもので傷を付けないように取り除いてください。(図1参照)
噴霧できない。	フィルターのゴミ詰まり	スプレー本体をボトルから外し、フィルターに付いているゴミを取り除いてください。(図2参照)
噴霧できない。	ボール弁のはりつき	スプレー本体をボトルから外し、逆さにして数回叩いてください。密着したボール弁が外れて動くようになります。(図2参照) (スプレー本体を振るとカタカタと音がします。)
霧にならない。 直射しか出来ない。	ムシの紛失	ノズルを外してムシが入っているかどうかを確認してください。(図1参照)



※ ノズルを取り外すときは内部のムシを紛失しないようにしてください。ムシを紛失すると霧状にならず直射になります。また、噴霧液の吸い上がりが悪くなります。



部品セット ※部品のご注文はセット番号にてご発注ください。



長期使用のご注意

本器の耐薬品性・耐久性は充分にあります。が、長期間の使用や過度な使用頻度によっては、プラスチック部品が劣化または、磨耗し、ピストン部から液もれなど、スプレーが正常に機能なくなります。そのような場合はお取替えの時期ですので新しい製品を再度お買い求めください。



フルプラ

〒348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-16
TEL 048-562-2680
<https://www.furupla.co.jp/>